



須田っ子

第14号

学校教育目標「進んで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・GA・DA

結果よりチャレンジ

校長

全校集会で、花いっぱいコンクールと数学検定について表彰をしました。一人一鉢をしたことが、数学検定を受けたことが、表彰という結果につながりました。

何かにチャレンジしようとするのは勇気の必要なことです。いい結果ばかりではないからです。時には、まったくだめだったということもあります。しかし、チャレンジしたことは経験となって自分の中に残ります。いろいろなことにチャレンジする気持ちをもっている自分の素晴らしさを「よくやった」と、自分でほめ、また新しいチャレンジを、あるいは再チャレンジできる人になってもらいたいと思います。

もうすぐマラソン大会です。わたしが小学生の頃もマラソン大会はありました。順位がはっきりと分かるので、結果ばかり気にしていると、気の重い行事でした。(わたしは小学校低学年の頃は、速い方でしたが、高学年は遅い方だったからです)

しかし、走ったことで友達といろいろなことが話せるし、最後まで走り切ったということは自分もできるという自信にもなりました。

「結果よりチャレンジ」は、東京2020オリンピック前のインタビューで萩野公介選手が話した言葉です。リオデジャネイロで行われたオリンピックでは、金銀銅のメダルを手にした萩野選手でしたが、一時は大会に出場できないのではないかとと思われるほど調子を落としていました。自己ベストとはほど遠いタイムで泳ぐ中、きっと引退も考えたのではないかと思います。しかし、チャレンジすることが大切と思い、東京大会に向けて練習を続けたそうです。

メダルは取れませんでした。が、「決勝と一緒に泳げるなんて神様がくれた贈り物としか考えられない。最高のギフト」や「大也と東京五輪の舞台で泳げたのでうれしかった。もう、昨日で涙は枯れちゃったのかもしれないです。タイムは遅いかもしいませんが、全力は出し切れたので、今の僕に悔いはないです」などのインタビューに、わたしはすごく感動しました。

マラソン大会に参加できるということは、健康だからです。だから、最も大切なめあては、走るということです。走らなければ結果も出ません。全員が体調管理をしっかりとって、結果よりもチャレンジできる大会になることに期待しています。



がんばりタイムで走る子供たち



9月10日(金)全校集会での表彰の様子です。花いっぱいコンクールは入賞しました。全校を代表して、環境図書委員長が賞状をもらいました。

3年生は、数学検定4級(中学2年程度)に合格しました。



地域のよさを知り、楽しんだり、役に立つことをしたりする学習を進めています。



2年生が町探検に出掛けました

2年生は9月9日（木）に選果場を、16日（木）に古山商店と郵便局の見学をしました。選果場では、梨が出荷されるまでの様子を見せていただきました。また、古山商店では店の説明や米を倉庫に入れる様子を、郵便局では仕事の様子を見せていただきました。



9/15（水）5年生が稲刈りをしました

5月12日に田植えをしてから、約4か月。秋晴れの中、5年生が稲刈りをしました。今年は晴れの日が多く、稲刈りがしやすかったようです。あっという間に、エリアの稲刈りを終わっていました。今年も農事組合法人ユータス北潟の方々のお陰で、収穫体験ができました。ありがとうございました。



9/17（金）3年生が梨の収穫体験をしました

家の方のご厚意で、3年生が梨の収穫体験をさせていただきました。3年生は、これまでに花粉付けや梨のことについて調べ学習を進めていました。大きな梨を自分の手で収穫し、充実した時間を過ごすことができました。

